令和7（2025）年度

伊丹市人権教育指導員

派遣のしおり

人権尊重のまちをめざして

―― 人権を守り育てる輪をひろげましょう ――

伊丹市教育委員会事務局 人権教育室

（お問合せ先：072-784-8113）

人権教育指導員は、これまでの同和教育の成果を生かし、法の下の平等や個人の尊重など、人権一般の普遍的課題や個別の人権課題について、研修のお手伝いをします。

テーマは、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・外国人・性的マイノリティなど。

指導員の派遣や学習内容のご相談について
お気軽にお電話ください！

たとえば・・・地域（自治会、PTA、老人クラブなど）や、職場、学校園（所）での人権研修等に、本制度をご活用ください。

○　謝礼は、必要ありません。

○　派遣を希望されるときは、人権教育室に希望内容と講師などを申請してください。

〔手続きの流れ〕

①人権教育室にお問い合わせ、希望内容など申出（相談）

②人権教育室に「伊丹市人権教育指導員派遣申請書」を提出

③研修終了後「伊丹市人権教育指導員派遣研修実施報告書」を提出

（※申請書は、伊丹市ホームページからもダウンロードできます。）

○　その他 視聴覚教材（人権に関するＤＶＤなど）も豊富に取り揃えています。

（ご連絡先）
伊丹市教育委員会事務局 人権教育室
電話　072-784-8113
メール　ed-jinken@city.itami.lg.jp
FAX　072-780-3519

	名前	主な指導内容
1	石崎 和美（いしざき かずみ）	女性と子どもの人権に関わる研修をワークショップ形式で行います。DVやデートDV、虐待防止、パワーハラスメント防止、LGBTについても、わかりやすくお話しします。
2	奥村 恵子（おくむら けいこ）	子どもの人権を尊重した子どもへの関わり方や声かけのしかた、仲間づくりなどについてわかりやすくお話ししたり、ワークショップ型の研修をすることも可能です。
3	甲斐 公美子（かい くみこ）	道徳教育を推進してきた経験をいかし、子どもの実態をふまえたさまざまな人権課題についてのお話をします。
4	門間 祐二（かどま ゆうじ）	小学校の経験をもとに、実態を踏まえた子どものさまざまな人権課題についてお話します。
5	金山 督（かねやま ただし）	同和教育推進校、人権啓発行政への関わりや保護司としての経験をもとに、人権教育や子どもの人権についてお話をします。
6	川上 八郎（かわかみ はちろう）	同和教育推進校での教育経験や部落解放伊丹市民共闘会議での活動をもとに、人権教育や子どもの人権についてお話しします。
7	金 慶子（きむ きょんじゃ）	在日外国人として受けた差別とどう向き合い、乗り越えてきたかについての笑いあり涙ありのお話をします。美しい民族衣装などで朝鮮の歴史と文化も伝えます。また、子どもの特性や子育てのおもしろさ、楽しさについても体験を交えてお話をします。
8	小松 しのぶ（こまつ）	～桜梅桃李～障がいがあってもなくても、人として“自分なりに自分らしく”生きるにはどうしたらいいのか…障がい児者との関わりの中で感じたことを基に、社会の中でみんなと一緒に生きていく大切さをお話しします。
9	佐藤 幸宏（さとう ゆきひろ）	子どもの実態を踏まえた子どもの人権についてお話しします。また、同和問題、子供の居場所作りなどさまざまな人権問題についてお話しします。
10	白鹿 達也（しらが たつや）	企業における人権課題に対する取り組みや研修のあり方、体制づくりについてお話しします。
11	菅沼 義伸（すがぬま よしのぶ）	認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方への意思決定支援についてお話します。
12	田中 章子（たなか あきこ）	部落差別を受ける当事者として、又、我が子からトランスジェンダーであることをカムアウトされた親の立場から「部落差別問題を正しく知ることは、すべての人権課題につながる」という体験を通しての話をします。
13	田中 典子（たなか のりこ）	幼児教育の中で、子どもや保護者とかかわり感じている「子どもの人権」について、みなさんと共に考え、学び合いたいと思います。
14	寺岡 とも子（てらおか ともこ）	PTA活動から始まった部落問題の学習を通して様々な人と出会い、差別意識からの解放に繋がっていった自身の体験をお話します。
15	中江 洋忠（なかえ ひろただ）	これまでの教育現場での経験や、人権教育を推進してきた経験を踏まえ、子どもの実態をふまえた様々な人権課題についてのお話をします。
16	波多江 みゆき（はたえ）	コミュニケーション、自尊感情、傾聴、アンコンシャスバイアスなど、「自分らしく」を大切にした元気が出るワークを行います。また、性的マイノリティの正しい知識も一緒に学びましょう。
17	濱田 格子（はまだ さだこ）	女性や子どもの人権、子ども食堂等の市民活動についてわかりやすいお話をします。ワークショップ形式の研修もします。
18	林 やよい（はやし）	生まれつき身体・知的に重度の障がいがある娘との暮らしで出会った物事を、お話しします。多様な人が共に生きる社会について考えていただくきっかけになればと存じます。
19	方 政雄（ぱん じょんうん）	グローバル時代を迎え、多文化共生社会の有りようについて、在日外国人としての生活体験を通して、人権的視点に立った異文化理解の大切さとその方途をお話しします。
20	前田 勝弘（まえだ まさひろ）	部落解放運動を通して自分の差別を受けた体験や、自分の中の差別意識に気付き、人間としてどう生きていかなければならないかを共に考えて行きましょう。
21	森田 邦彦（もりた くにひこ）	自らの子育てや親の介護など、これまでの体験をもとに、子どもの自尊感情の育て方など、さまざまな人権課題についてお話しをします。
22	吉野 真旨（よしの まさし）	ノーマライゼーションの基礎理念と共に、インクルージョンという新たな概念の具現化により、共生社会の構築を目指し、障がい当事者の視点からメッセージを発信し、様々な気付きを提唱します。
23	和久 学（わく まなぶ）	教育の現場での経験を交え、子どもの人権、子育て、人権教育の歩み等についてお話しします。

令和　　年　　月　　日

伊丹市教育長　様

所　属

名　前

伊丹市人権教育指導員派遣申請書

下記のとおり研修会を開催しますので、講師（助言者）として伊丹市人権教育指導員の派遣を申請します。

記

1	日　　時	令和　　年　　月　　日（　　） 時　　分　～　　時　　分
2	場　　所 住　　所 電話番号	〒 TEL
3	対 象 者	
4	学習内容	
5	参加人数	約　　人
6	指 導 員	
7	そ の 他	